



一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
日本聖公会東京教区会館内
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696
http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

発行人 足立征三郎
編集者 萩谷長生
印刷所 株式会社スコポレーション

新会長に足立征三郎兄、副会長尾崎茂雄、木島出兄

2017年度事業活動・会計収支報告他を承認
— BSA第102総会 —

日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)の第102総会が2月24日(土)午後、東京教区会館で開かれ、次期理事14名、監事2名を選出した。総会後に開かれた理事会で、会長に足立征三郎兄、副会長に尾崎茂雄兄と木島 出兄を互選した。
足立新会長は「やるべきことはいっぱいある。みなさんの協力を得て一生懸命頑張る」と決意を述べた。

総会は開会の祈りの後、足立征三郎理事が2017年度の事業活動を報告した。

出席者から「BSAのホームページを更新してもらいたい」という指摘があった。倉石副会長が「キープ協会の協力に期待している」と答えた。また、寺内元会長からは、BSAセミナーとかアセンブリーの再開を望む要望があった。

野田理事からは、『同胞会辞典』の改訂作業の報告をした。信徒叢書の活用を訴える発言が金子真会員からあり、足立理事から「林間、南町田、聖ルカ礼拝堂各支部などで活用している」という報告をした。

永井信行理事から、BSA90周年記念誌のゲラを回覧した。アメリカのBSAとの関係を懸念する声もあり、倉石副会長から、立教大学のドノバン氏に理事として参加してもらうことになったという説明があった。

活動報告は拍手で承認された。第1号議案の2017年度会計収支決算(案)と当期財産額不足金処分(案)は、後藤 務理事から説明があり、次いで早川監事から監査報告があった。



同案は拍手で承認された。第2号議案は公益目的財産額がゼロとなると見込まれる事業年度の末日(完了予定年月日)変更の件。

来年度以降の見通しについて質問があり、後藤理事が「繰越金次第である」と答え、拍手で承認された。

第3号議案は、任期満了に伴う新しい理事・監事選任の件。足立理事から、候補者の推薦にいたる経緯を説明した後、理事候補については評議員会が推薦した7人と理事会が推薦した7人の計14人の候補者名を総会

に提出。倉石副会長が理事候補者を一人ずつ紹介した。監事については、早川潔兄、永井信行の2名の候補者を推薦し、拍手で承認した。

新執行部の新しい顔ぶれ

理事

- 足立征三郎(聖マーガレット)
- 尾崎茂雄(横浜・聖アンデレ)
- 木島 出(阿佐ヶ谷聖ペテロ)
- 桑田秋光(千葉復活教会)
- 後藤 務(東京聖三一教会)
- 永井信行(東京・三光教会)
- 野田 徹(清里聖アンデレ)
- 萩谷長生(柏聖アンデレ教会)
- 吉松英美(聖オルバン教会)
- * 島崎敏彦(聖マルコ教会)
- * H・ドノバン(立教諸聖徒)
- * 松平謙次(練馬聖ガブリエル)
- * 湯田啓一(柏聖アンデレ教会)
- * 湯田正範(東京聖三一教会)
- 監事
- 早川 潔(聖ルカ礼拝堂)
- * 永井 惇(茂原昇天教会)

今期で退任するのは、砂田郁郎会長、倉石昇副会長のほか、永井寛泰、元田充隆両理事、監事の佐久間達也の諸兄。総会は拍手で謝意を表し、閉会した。

総会後、開かれた新体制初の理事会は、新しい会長と副会長の選出を行い、新会長に足立征三郎兄、副会長には尾崎茂雄兄、木島出兄を選出。任期は2年。退任した砂田郁郎会長、倉石副会長はBSA顧問に就任する。(理事 吉松英美)

希望のBSAをめざして

マルチン 足立征三郎

「わたしたちはメシア(油をそそがれた者)に出会ったと言った。」

(ヨハネ伝1章35、42参照) 砂田会長、倉石副会長の後を受け、会長に足立、副会長に尾崎、木島両名による体制がスタートいたしました。

前会長、副会長には、BSAに対する長年の貢献に感謝し、顧問として、指導・助言を頂きたく、お願い致しました。

2018年度事業活動計画では、「希望のBSAをめざして」BSAのこれまでの歩みを振り返り、ポール・ラッシュ博士をはじめ、BSAをここまで育ててくれた先達への思いを新たにすると同時に、この先の10年を視野に入れたものでありたい、とするされ、会員相互の交流を深め、本部、支部、会員と一緒にBSAの原点に返り、BSAは何をすべきか、何を目指すかを考えたい、としています。

2018年度に向けて課題が多く残されています。前年に目標として掲げたものをさらに具体化し、実施していきたい。これからは、イエス・キリストにつながる家族として、福音を伝える人となり、BSAを盛り立てる事より、BSAが失ってきたものを取り戻すことに努力

していききたい。そうすれば新しい何かが生まれてくる、と思っています。

副会長に選ばれて

マツヤ 尾崎茂雄

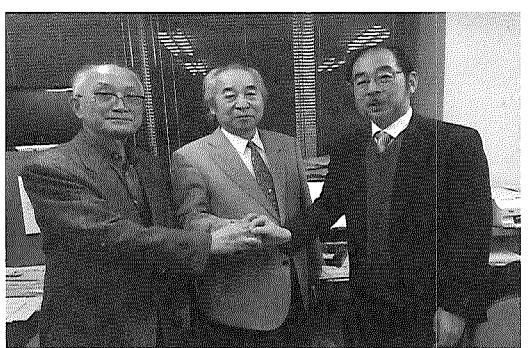
平成7年12月より理事をしていますが、会社勤務の関係でBSA活動にあまり参加出来ませんでした。本年4月からは会社勤務も少なくなり、

足立会長、木島副会長、尾崎の3名で協力し合い、BSAの精神の「キリストの御国拡張」のため「祈禱」と「奉仕」の規約を守って行きたいと思っています。又、BSA本部と支部の連携をとり良い働きが出来よう努力したいと思っています。

副会長に指名されて

ダビデ 木島 出

砂田前会長の下で、約2年間BSA本部事務のお手伝いをさせて頂いた関係で、指名されたものと思います。しかし、副会長は単なる事務の仕事とは違い、責任ある職務です。この大役を務めることが出来るか不安ではありますが、役員の皆様と協力しながら、足立新会長を支えてBSA100年



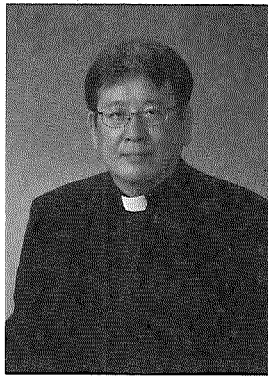
中央：足立会長、左：尾崎、右：木島 両副会長

に向かつての歩みを進めていければと思います。BSAの現状は、経済的にも年齢構成も、樂觀的要素を見出すのは難しいように思われます。しかし、常に悲観的にならないで、神様の御用を果たしていきたいと思っております。会員皆様方お一人お一人の主にお働きとお支えを願ひながら、直しくお願い致します。

復活のイエスに出会う

神戸教区主教 オーガスチン 小林 尚明

安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香油を買った。そして、週の初めの日の朝ごく早く、日が出るにすぎ墓に行った。彼女たちは、「だれが墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。ところが、目を見上げて見ると、石は既にわきへ転がしてあった。石は非常に大きかったのである。墓の中に入ると、白い長い衣を着た若者が右手に座っているのが見えたので、婦人たちはひどく驚いた。若者は言った。



小林尚明

「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めた場所である。さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおりに(14:28)、そこでお目にかかる』と。婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。(マルコ16:1-8)

イエス様は金曜日十字架で亡くなりお墓に納められます。日没とともに安息日が始まり、土曜日の日没とともに安息日が終わりました。マグダラのマリアたちはその夜オリブ油を入れる香料を買い、香油の準備をします。そして日曜日の朝イエス様を葬った墓に急ぎます。心配事は、横穴式のお墓をふさいでいる大きな石を自分達では動かさない、ということでした。」と

聖書の学者さんたちは、ガリラヤがイエス様の本拠地。エルサレムは対決の場。イエス様に出会うのであれば、やはりガリラヤの方がふさわしい、とマルコは言いたかったのではないかと説明します。

それでは現代の私たちが、復活のイエス様と出会うガリラヤとは、どこでしょうか。弟子たちにとってガリラヤとは、最初イエス様に出会った所、イエス様に出会って神様を感じた所、そしてイエス様に従ったところと決断した所でした。

そんな信仰の原点のような場所を皆さんは持っていますか。イエス様が見えなくなった時、一つのみ言葉やイエス様の譬話など、あなたがここでイエス様に出会ったという原点に帰ってみなさい、そこにイエス様に出会えるヒントがある、ということはこの『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。』

ここで「お目にかかれる」という言葉が示しているのではないのでしょうか。一度、皆さんが最初イエス様に出会った所に帰って見られたらと思います。そこで復活のイエス様が皆さんを待っておられる、と私は信じます。イエス様がお目にかかれる、と私は信じます。

会長を退任するにあたって

アイレニアス 砂田郁郎

このたび会長を退任することになりましたが、気がついたら8年もたっていたというものが、率直な感想です。まず最初に、優秀なスタッフ(副会長、理事、監事、評議員などの方々)に恵まれたことに感謝しなければなりません。

思い返せば、さまざまなことがありました。最も大きなことの一つは新法人への移行です。監督官庁との折衝その他の多くの苦勞がありましたが、金子眞さんを始めとする多くの方のお力添えをいただき、2013年に無事手続きを完了することができました。

2017年には植松誠首座主教のご臨席をいただき、創設90周年記念礼拝およびポール・ラツシュ生誕120周年礼拝を盛大に行うことができました。キープ協会と良好な関係が続いていることも大変喜ばしいことです。今後この関係が継続・発展することを願っています。

私の長年の夢であったクワイヤーフエスティバルを2015年開催できたことは最も思い出深いことでした。募金を含め実行委員長の大役を鳥崎敏彦さんに担っていただきましたが、韓国の柳時京司祭や松田正人さんのご尽力で韓国からも少年聖歌隊が参加してくれるなど大きな盛り上がりを見せ、植松主教からも高い評価をいただきました。縁の下で力持的なきをしてくださった多くの方々に改めてお礼申し上げます。

制限ある紙面ですべての思いをお伝えすることは不可能ですが、今まで支えてくださったBSAに関わるすべての方々に心から感謝いたします。

日々是好日

前副会長 ダビデ倉石 昇

わたしは海が好きである。広く大きく深く、水の上を歩く人もいた。塩の味も全く異なり、能登塩、瀬戸内海の塩、西伊豆土肥塩と楽しい。方舟ならぬエクレシアの方々、特にBSAの緒兄弟には若い時代からご指導賜り、真に人生の

師匠集団であった。立教中学時代BSA会員で大学体育会長でもあった中川一郎教授の指導がきっかけで、当時在任していた地の近くの千葉復活教会にて受洗(木俣哲次司祭)、按手はスポート好きな野瀬秀敏主教。大學生になってBSA会員に。体育会員の第1支部で午祷講演会を準備し、クリスチャン教授の講話を聞く。そして多数の仲間達と清泉寮にて合宿したり、豊かな青春時代を謳歌した。教会の牧師、豊田秀二司祭は大齋節の過ごし方に厳しかったので、イースターは印象的であった。因みに折祷書に記されている年次移動祝日表は2038年までであり、イースターはしばらくは桜咲く4月である。

中学からレスリングをして、40才頃から監督を永く務めた。気合を入れるべくすぐ怒鳴ってしまいうせもあるが、この頃はイエスの眼差しを思い、目で見つかり見、耳でしっかりと聞こえたりゆったりしている今日である。日本聖公会の礎を築いたC・M・ウイリアムズ主教は最初の法憲でサクラメント(聖餐)を神の義理と訳されている。解りやすく表現されて好きな言葉である。祈禱書も文語体から口語体に改正されてから随分たっているが、義理も人情も薄らいでいる昨今である。何卒赦し給え。キリストの復活は「The Resurrection」である。「Resurrect」は「古いものをしっかりと復興させる」の意。人口減少と高齢化の今日、教会のボトムアップのため、先日修養会で相澤司祭から次のように教示された。80歳以上の方、神さまは本当におられ、若人たちを支え、導いておられるのだと、その人生経験の長さ、深さから語り続けていくという

理事就任の抱負

クリストファー 鳥崎敏彦

私がBSAと出会ったのは立教大学に入学してすぐBSA第8支部に入部した時だ。もう、40年以上も前のことだ。さて、私が初めてBSAの理事として働かせて頂いた頃の理事の様子、活動内容もさることながら、運営もマンネリ化しており、決定事項も、実行されず曖昧なままになってしまいうとがしばしばであった。

そんな理事会にイライラしていた私は、BSAと距離を置くことにした。しかし、今回、再び声をかけて頂き、BSAは私の信仰の原点であることを思い起こし、理事として働くかと思つた。「奉仕する人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。」(ペテロの手紙14章11節)。

この聖句に学び、以前、理事をさせて頂いた頃の気負いや背伸びを反省し、これからは、自然体で今の私の力に見合った働きができればと思う。

ヨハネ 松平謙次
 会員としてもまだ新参者ですが、推薦を受け、理事になりました。90年誌のタイトルのように、「希望のBSA」に向かって進めるように願っています。

クリストファー 湯田啓一

学生時代立教大学BSA第16支部に入部し、奉仕活動をする内に神様の御計らいにより、大学3年生の時に洗礼を受けました。東京教区の千住基督教会、横浜教区の柏聖アンデレ教会と教会生活を送りました。

いつも神様の御守りの内にあって、幸せな人生を歩くことができたと感じております。このたび理事というお話はいただき、大役を果たす自信はありませんが、幸い立教大学時代の知人や東京教区、横浜教区の知り合いの方々が数多くおり、それらの方々にご指導を受けつつ神様の栄光をあらわすために働くことができればと思っております。

アンデレ 湯田正範

2001年に洗礼を受けた際の名親の一人が寺内元会長で、洗礼名のアンデレも寺内元会長の「君はアンデレという感じがするね」の一言で決まり、BSAの交わりにも加えていただきました。洗礼名が決まった時点で入会も決まったようなものです。

理事推薦も砂田前会長より電話で「理事に推薦したいからよろしく」の一言で決まりました。BSA活動で最も印象に残っていることは、クワイアパフォーマンスのお手伝いをした時点で、役割上参加した方々の歌唱

を聴くことが出来ませんでした。が、何故か非常に充実した楽しい思い出です。歴代会長のお導きによって今ここに居ることを感謝し、現会長・理事のご指導を仰ぎつつ、お役に立ちたいと願っております。

監事就任の抱負

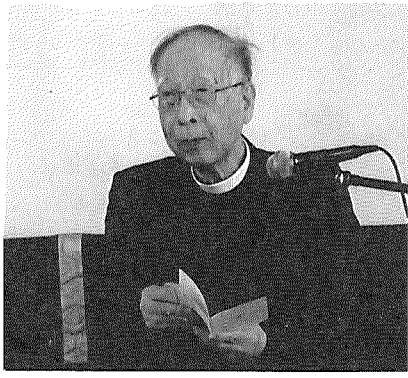
アンデレ 永井 惇

事前に、理事会において小生を監事に推薦することのご連絡を頂いた時には、深い考えもなく「宜しくお願い致します」とお答えしました。

改めてBSAの定款及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に記載されている監事の条文を読んで見ますと、その責任の大きさに軽々しく引き受けるべきではなかったと反省しているところです。引き受けた以上は会員皆さまのご協力により一生懸命努めさせていただきます。

真光教会の大斎節講話
 テキストに信徒叢書

真光教会(南町田支部)では、2月25日、大斎節講話の講師に今井蒸治司祭を招いて聖公会についての学びを行なった。



今井司祭には信徒叢書の著書として『聖公会という名の教会』が3冊ある。

この日は礼拝後の正午に始まり、およそ20名が参加した。今井司祭は、「自身の著書をテキストにして、主教、司祭、執事の三つの職位ということから聖公会の特色を話された。

「教会はキリストの身体」(パウロ)といわれるが、これはキリスト教を理解する上で最も大事なことである。教会は何のためにあるかといえ、人々が平和に暮らすことができるように、ミッシヨンとして神はイエスを遣わされた。だから、教会はそのミッシヨンを果たす場所である。教会がキリストの身体であるならば、教会はその責任を果たさねばならない。われわれがキリストの身体の手足だといっているのであれば、生活する場面、場面に教会があるのだといえる。人それぞれの所、会社、学校などに教会はある。「教会」と訳されるエクレシ

アとは、「呼び集められた人々」という意味を持つ。機械的ではなく、有機的につながっている共同体的な人格といえる。そうだとすればそれはどう表現されるのか。歴史的に使徒たちから伝わっている主教、司祭、執事たちによって教会を表現しようとした、それが聖公会である。その間多くの人が殉教してきた。殉教しないといけない宿命である。私たちはイエスの十字架によって許され、生かされていく。そのことを大斎節にあたり考えていきたい、と講話を結ばれた。(理事 吉松英美)

連載「BSAと私」
 (第6回)

目に見えない力?

ヨハネ 松平謙次
 (練馬聖ガブリエル教会)

私とBSAの最初の出会いは今から約60年前、清泉寮で行われたBSAボーイズキャンプへの参加に遡る。小学6年から中学1年の時かと思う。私は川越キリスト教会に属していたが、こはすでに1934(昭和9)年BSA支部が置かれ、1947(昭和22)年には戦後最初のBSA支部が置かれた教会である。当時特に竹内健治さんが熱心に活動していて、同氏の勧めによつてこのキャンプに参加したのであった。同教会年表によると1958(昭和33)年に「少年支部再発足の足がかりとして戦後最初の少年キャンプを再開」とあるのが、これであつたかも知れない。

川越の教会における同胞会活動は大変活発であり、たぶん教会の男子青年・壮年の殆どが所属していたのではないかと思う。その後、立教大学に入学すると同時に立大BSA第3支部に入会した。立大BSAはいつ頃からかはわからないが、日本BSAとは別の組織になり、直接的な関係も交流もなかった。私が入会した当時は10の支部、約300人の会員を擁する学内でも有数な大所帯の団体であつた。多くの支部は女性の会員もいて、それぞれ特長や個性を生かした活動を展開していた。BSA会員はチャペルの隣にあつたチャペル会館(通称チャペ館)を根拠にしていて、授業に出るよりチャペ館にたむろしている時間が長い学生も少なくなかつた。

た。第3支部は西村哲郎司祭や岩井祐彦司祭をチャプレンとして、大先輩・武藤六治主教の学生時代から東北各地での伝道活動の手助けやワークキャンプを特色とする支部であつた(このあたりのことはVISION紙2016年10月156号に記した)。卒業後はOBとして、主に岩手県折壁の聖ナタナエル教会における学生の活動の応援を続けてきたが、その活動が90年代最後の頃に休止状態になってからは、立大BSAとも折壁とも縁遠くなつてしまった。

しかし数年前、いくつかのきっかけが重なつて、第3支部OB・OGとの音信や折壁の教会との関係が復活した。実に大卒卒業後40数年たつたことであつた。またその頃、何人かの方からの誘いもあり、2016年BSA入会となつた。目に見えない力の働きであつたのだろうか。

それぞれのBSA

理事 吉松英美
 (聖オルバン教会)

昨年はBSA創立90周年とポール・ラッシュ生誕120周年が重なるおめでたい年であつた。BSAは11月に創立記念総会を開き、記念礼拝を捧げた。キープ協会もポール・ラッシュ生誕120周年を記念してゆかりの山梨県北杜市での記念コンサート、立教大学での記念礼拝、「我が人生、日本の青年に捧ぐ」展開いた。

BSAでは90周年記念の集大成として記念誌『希望のBSAをめざして』を今年の3月に発行した。私も編集委員の一人に加わり、主として各教区主教の祝辞、聖職者や先輩からの「BSAへの助言と励まし」、会員からの「BSAと私」、そして理事からの「BSAの課題と提言」等を担当した。クリスマスを控えた忙しい時期のお願ひではあつたが、幸いに65人から寄稿していただくことができた。それだけでも予想を超えることであつた。いただいた原稿を読み、それを印刷用の原稿に整え、ゲラが出るようになってからも含めて、何度も何度も丁寧に読んで、北海道教区植松主教のように、生まれた時から「世の波騒げどみ声静かに我に従え」とイエス呼びたもう」という聖歌を聴いて育った人もいれば、立教BSAから卒業後に日本聖徒アンデレ同胞会に入った人、社会人になってから先輩や牧師、友人に誘われて入会した人などきっかけは様々である。

私自身のBSA歴はまだ数年で、BSAを語る資格はないが、周りからは、BSAの現状や将来について明るい話はあまり聞かえてこない。どちらかといえば、悲観的な話が多い。ところが今回お寄せいただいた原稿を読むと、BSAを愛し、BSAが大好きで、今あるのはBSAのおかげです、これから一緒に歩いて行きますよという話や、中には人生の大半がBSAとともにあつたという声がいっぱいあるので驚いた。何がみなさんを机に向かわせ、ペンを執らせ、その思いや人生を熱く語らせたのか。

読むたびに、凝り固まつた私の心は揉みほぐされ、それぞれの人がそれぞれのBSAがあり、それもよしなり、これもよしなりという安心をいただいたような気持ちになるから不思議である。

2018 祝御復活

<p>祝ご復活 ダビデ 吉松 英美 聖オルバン教会</p>	<p>主のご復活、ハレルヤー バルナバ 武藤 六治</p>	<p>祝ご復活 ミカエル 蘆田 信裕 (画号) 松巖 柏聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 アンデレ 湯田 正範 東京聖三一教会</p>	<p>祝ご復活 アンデレ 黒田 哲朗 立教学院諸聖徒礼拝堂</p>	<p>祝ご復活 イースター おめでとうございます パウロ 金子 眞 林間聖バルナバ教会</p>	<p>祝ご復活 サムエル 岡野 峻 聖パウロ教会</p>
<p>祝ご復活 クリストファー 島崎 敏彦 聖マルコ教会</p>	<p>祝ご復活 ミカエル 松岡 正治 聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 オーガスチン 村瀬 俊幸 長坂聖マリヤ教会</p>	<p>主のご復活を心から お祝い申し上げます マツテヤ 尾崎 茂雄 横浜聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 イースター トーマス 斎藤 政雄 聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 おめでとうございます アブラハム 野田 徹 清里支部長 清里聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 ハレルヤ祝ご復活 BSA顧問 アイレニアス 砂田 郁郎 東京聖三一教会</p>
<p>祝ご復活 ダビデ 木島 出 阿佐ヶ谷聖ペテロ教会</p>	<p>主はまことに、まことに よみがえられたハレルヤ クレメント 国見 登 立教学院諸聖徒礼拝堂</p>	<p>祝ご復活 聖路加国際病院 BSA聖ルカ礼拝堂支部 支部長 早川 潔</p>	<p>祝ご復活 イースター 感謝 日々是新 ダビデ 倉石 昇 房総支部千葉復活教会</p>	<p>祝ご復活 イースター おめでとうございます 銀座朝拝会 チャレン 司祭 佐々木 庸 世話人 松田 正人</p>	<p>祝ご復活 マルチン 足立征三郎 聖マーガレット教会</p>	<p>祝ご復活 ステパノ 高橋 保 横浜聖アンデレ教会</p>
<p>祝ご復活 ヤコブ 後藤 務 東京聖三一教会</p>	<p>我キリストと共に在り キリスト我と共に在り ヨハネ 寺内 安彦 東京聖三一教会</p>	<p>日頃のご支援に感謝 福岡支部 フランス 外池 圭二 九州教区福岡聖パウロ教会</p>	<p>祝ご復活 日本聖公会 スカウト指導者協議会 事務局長 パウロ 金子 眞 事務局長 藤波 勝久</p>	<p>祝ご復活 イースター ルカ 永井 信行 東京・三光教会</p>	<p>祝ご復活 クリストファー 湯田 啓一 柏聖アンデレ教会</p>	<p>祝ご復活 アウグスチヌス 岩間 光雄 房総支部長 松戸聖パウロ教会</p>
<p>祝ご復活 アンデレ 永井 惇 茂原昇天教会</p>	<p>祝ご復活 テモテ 早野 勝徳 横浜聖アンデレ教会</p>	<p>イースター おめでとうございます テレジア 星野 直子 星野道夫事務所 市川聖マリヤ教会</p>	<p>祝ご復活 イースター おめでとうございます マセド 佐藤 百合子 三光教会</p>	<p>祝ご復活 イースター おめでとうございます 若い魂の持ち主を求めて ミカエル 諫山 禎一郎 八王子復活教会</p>	<p>祝ご復活 イースター 初心に帰ろう パウロ 小出 康之 真光教会</p>	<p>祝ご復活 アンデレ 武藤 直二 清里支部・田辺聖公会</p>

Христось воскрес !
Воистину воскрес !
ハリストス復活!
実に復活!
ロシアレストラン
チャイカ
高田馬場駅前 F1 ビル 2F
ウイリアム 麻田恭一(練馬聖ガブリエル教会)

BSA房総支部

チャプレン 田澤利之
 支部長 眞栄田肇
 岩間光雄 松戸
 倉石昇 千葉
 高橋正二
 池田稔
 永田保信
 桑田秋光
 永井義行
 永井直行
 倉石栄
 岡崎敏太郎
 豊島圭伸
 筒井康二
 永井隆雄
 山崎俊男
 桜井彦太郎
 萩谷長生 柏
 湯田啓一
 芦田信裕
 荒木信義
 山川義光
 磯岡哲也 福田
 飯田栄
 内田利一 松戸
 大橋寛
 丹治隆雄
 永井惇 茂原
 相場宗太郎 鴨川
 坂本輝彦 立教
 村瀬俊幸 長坂

BSA神田支部

チャプレン 井口 諭
 支部長 金澤一央
 神辺顕彦
 鈴木 出
 長谷川卓

BSA盛岡支部

チャプレン 林 国秀
 顧問 金子昭三
 支部長 赤坂 徹
 副支部長 斉藤高夫
 会計 相澤 洋
 書記 圓子敬一
 照井寿弘
 赤坂 健

BSA横浜支部

チャプレン 三原一男
 顧問 瀬川義夫
 尾崎茂雄
 支部長 早野勝徳
 高橋 保
 副支部長 西谷信一郎
 岡田健治
 小林哲夫
 小山俊雄
 土井督郎
 斉藤垣徳
 高橋紀道
 富安重雄
 瀬川 隆 茂原
 高橋謙哉 浦安
 染谷孝章 山手
 工藤 亮 山手
 中村 茂 山手
 平井 拓 川崎
 田島利男 川崎

BSA福岡支部

チャプレン 中村 正
 顧問 荻枝裕志
 秋山献之
 支部長 外池圭二
 園木一男
 吉鹿善郎
 吉鹿善文

BSA聖マルコ教会支部

チャプレン 佐々木庸
 支部長 島崎敏彦
 戸川達男

BSA池袋支部

チャプレン 橋本克也
 支部長 天野公成
 副支部長 佐久間達也
 永井寛泰
 丸茂晴彦 立教

BSA平塚聖マリヤ教会支部

チャプレン 宇都山武志
 顧問 竹内元章
 金子和雄
 顧問 土田健次
 小室喜雄
 支部長 末兼 仁
 幹事 鈴木久夫
 赤田祐章
 書記 富塚 仁
 村瀬道雄
 高田和明
 堀井 明
 水津顕男
 黒田治男
 上城太一
 小菅利一
 林 豊
 小林博紀
 片山正久
 島田慰彦
 石塩慎吾

BSA清里支部

チャプレン 島田征吾
 支部長 野田 徹
 興水国雄
 立岩 督
 利根川寅雄
 中村光男
 根津吉夫
 小林長弘
 吉田愛一郎
 武藤直二
 川田浩毅

聖路加国際大学
BSA聖ルカ礼拝堂支部

チャプレン ケビン・シーバー
 チャプレン 上田憲明
 支部長 早川 潔
 斉藤寿明
 渡辺 勲
 岩崎良平

藤沢支部、湘北支部は休会中

BSA林間支部

チャプレン 片山 謙
 顧問 川崎文雄
 金子 真
 塩月 斎
 支部長 小平 基
 金子義雄
 並木伸裕
 江原重則
 永井昭彦
 倉田 賢
 伊木俊昭

BSA南町田支部

チャプレン ケビン・シーバー
 支部長 松田正人
 副支部長 吉田昌夫
 書記・会計 小出康之
 細田衛士
 三村英夫
 増岡克夫
 古谷俊次
 大山省三
 矢久保諒
 森田直也
 野田義文
 中野欣一

BSA東京聖三一教会支部

チャプレン 倉澤一太郎
 支部長 川村啓三
 津村周伝
 秋山俊哉
 石川大次郎
 岩浅紀久
 河合伸治
 川田泰熙
 後藤 務
 砂田郁郎
 寺内安彦
 名倉 敏
 西澤功幸
 藤松 曜
 松田義夫
 湯田正範
 網蔵卓爾
 矢野峻行

90周年記念誌

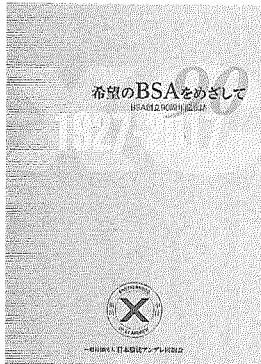
「希望のBSAをめざして」

発行

BSA 90周年記念事業の一
 つとして記念誌の発行が計画
 されてきましたがこの度2月
 24日付で発行されました。

11教区全ての主教がお寄せ
 くださったお言葉、11月25日
 に開かれた記念式での植松首
 座主教の説教の全文、聖職の
 方々の期待と助言、この20
 年間の年表、20年を振り返る
 座談会、クリシタン遺跡探訪
 の旅のまとめ、会員の皆さん
 の「BSAと私」「課題と提
 言」、ポール・ラッシュの思い
 出、支部紹介などが収録され
 ております。

会員の皆さん及びいつも
 VISIONをお送りして
 いる、教区、教会にお届けし
 ます。無償配布ではありません
 が、この度任意(一口千円)
 の募金をさせていただきました
 といたしました。会費納入の
 際などにご配慮いただければ
 幸いです。なにとぞよろしく
 お願いいたします。



新刊案内

Elizabeth A. Henfl 著
 松平信久・北條鎮雄訳

『キープへの道 昭和史を』

拓いたポール・ラッシュ
 立教大学出版会刊
 丸善雄松堂販売

(344ページ・3,800円+税)

「VISION」文芸

吉松英美

「希望のBSAをめざして」編集録

早く編集子の願い受け入れて
 熱き思いを詰めし600字

黄ばみたる原稿用紙に若き日の
 BSAを綴りし89歳

一旦は体調不良で断るも
 復して書きし司祭の稿あり

ふと思う手稿そのまま載せたと
 一文字ごとにその人の息

今ここに編集終えてあるはただ
 この機会我らに与えし主に感謝のみ

.....
 松岡正治

麓かや清泉寮のポール像
 新酒注ぐ清泉寮の研修生
 教会の窓にうつすら花明
 出雲には出雲の言葉蜩取
 朗読の声の響くや春の朝
 爽やかや帰りのバスの時間表

歓迎新入会員

ルカ 野田 義文 (真光教会)

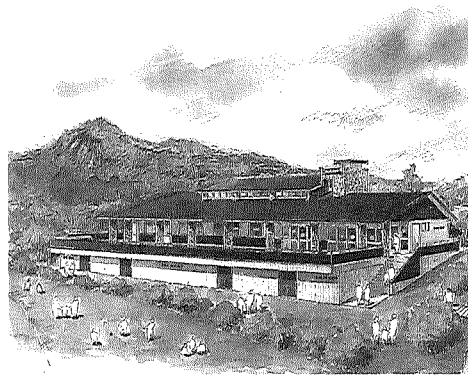
サムエル 中野 欣一 (真光教会)

清里高原だより 清泉寮ニュース

清泉寮ジャージーハットが 新しく生まれ変わります！

八ヶ岳南麓・清里高原の名物清泉寮ソフトクリームを販売している「清泉寮ジャージーハット」が、2018年7月に新しい店舗に変わります！

店内は約2倍の広さになり、ソフトクリームもお買い物も、ミルクバーでの飲食も、これまでに以上に快適にゆったりと楽しむことができます。



また、天然酵母のパンや手づくりジャムの「清泉寮パン工房」も、新しいジャージーハット店内にお引っ越ししますので、焼きたてのパンがそのままお買い求めいただけるようになります。ジャージーハットの南側に作られる300㎡の開放感あふれるテラスは、富士山や南アルプスの絶景が眺められるほか、ご好評いただいていた足湯ももちろん新設されます。足湯で疲れを癒しながら富士山を眺め、ソフトクリームをほおぼる、とい

う定番の楽しみ方はこれからも清里高原の風景の一つになるでしょう。

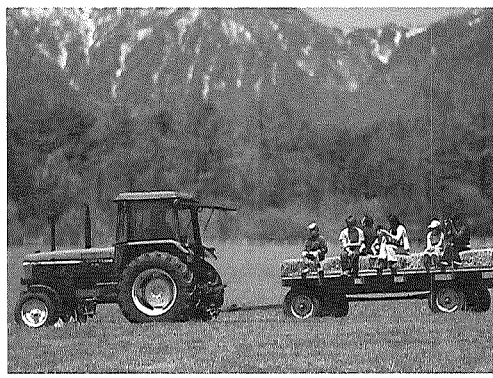
現在は、今の店舗をオープンしながら隣で新しいジャージーハットの建設を進めております。閉店期間はありませんので、いつお越しただいても清泉寮ソフトクリームをお召し上がりいただけます。あと3ヶ月ほどはこれまでの清泉寮ジャージーハットで、夏休みからは新しい清泉寮ジャージーハットで皆様をお待ちしていますので、ぜひ高原の風を楽しみにお越しください

ゴールデンウィーク 体験プログラムのお知らせ

ゴールデンウィークの清里は長い冬がようやく終わり、日に日に春めいていく時期です。八ヶ岳にはまだ雪が残り、森中には雪解けのせせらぎと鳥たちのさえずりが溢れます。牧草地は若草色になり、木々は芽吹きを迎えて淡い緑色が徐々に盛り全体に広がっていく最中です。日ごとの風景の変化が1年の中で最も大きく、森全体が春を謳歌しているようなとても美しい季節です。清泉寮では、清里の自然にふれあえる様々な体験プログラムをご用意しています。春の清里高原へ、素敵な思い出を作りませんか？

●らくのう体験広場

牧草を積んだトラクターの荷台に乗り、絶景の牧草地をのんびりとドライブする「ヘイライド」と、清泉寮ジャージー牧場で搾られたジャージー牛乳を使って手づくりする「バター作り」の2つが体験できます。手軽に牧場気分が楽しめるので毎年大人気のプログラムです。



期間・4月28日(土)～5月6日(日)
時間・10時～15時(天候により中止の場合あり)
料金・どちらも1回500円
お問合せ・清泉寮ファーム ショップ0551-481488
※ご予約は不要です。

●清泉寮「森の時間」

清泉寮は一步外へ出ればすぐに森や牧草地が広がっています。その豊かな自然を活かして、森のお散歩ガイド・星空観察・この時期しかできない鹿のツノ探し・小さなたき火おこし体験など、バリエーション豊かなプログラムをご用意しています。実施日時や所要時間、料金は内容によって異なりますので、詳しくは清泉寮ホームページ

催し物案内

(社)聖ヒルダ会を支援する
チャリティーコンサート

6月21日(木) 14時開演
横浜みなとみらい小ホール

(出演)
ヴァイオリン 加久間景子
ピアノ 末永 匡

(曲目)
Vn. Sonata No.5 (Beethoven)
フォーレへの手紙(坂本日菜)
Vn. Sonata No.2 (Brahms) 他
チケット 税込み3,000円

申込み・問い合わせ先
kouenkaik@ngs-sc-n.net.jp
TEL: 090-6182-0347
FAX: 03-5932-8356

編集後記

この度、砂田郁郎、倉石昇両理事が会長、副会長職をそれぞれ退任されました。長きにわたる働きに対し、心より感謝いたします。今後とも顧問の立場から助言、ご支援を賜るようお願い申し上げます。

本紙5面に掲載の通り、90周年記念誌「希望のBSAをめざして」が発刊の運びとなりました。

内容、紙数ともに充実した記念誌に仕上がりました。なお、編集にあたって、特に永井信行理事、吉松英美理事の並々ならぬ尽力があったこと、さらにデザイナー福永澄氏(聖マリアレット教会信徒)の貴重な助言、協力が得られ、ことを付記し、感謝の意を表します。

(N・H)



★一般ご家庭の引越 事務所引越
★オフィスの引越 エキスパート!!
★フロアーの移動
★各種展示会セッティング etc..
Gtec 株式会社ギンテック
港区港南3-4-12
TEL: 0120-223-008
TEL: 3471-5313

ホームメイド・チーズケーキの店
CHEESE CAKE JOHANN
HOME BAKED MADE
和田博子
目黒区上目黒1-18-1
TEL 3793-3503

立教企画グループ
学校業務受託、人材派遣等承ります。
株式会社 立教企画
株式会社 立教オフィスマネジメント
株式会社 立教ファシリティマネジメント
株式会社 立教ライブラリーマネジメント
http://www.rikkyo-planning.co.jp